

KOCHI 2015 ROTARY 2016 CLUB SINCE 1937



世界への
プレゼントになろう
2015-16年度 RIテーマ

週報



Weekly report

第3241回
第3242回

2015年12月 8日
2015年12月 15日

2016年1月5日発行

● 会長挨拶



皆さんこんにちは。先週は定時総会が開催され、次年度の会長、幹事、各委員会のメンバーを原案どおり承認いただきありがとうございます。実際は来年7月からですが、委員会によってはこの12月から動き始めるところもあります。よろしくお願いします。

先週の高知新聞に大きく報道されましたが、半導体大手のルネサスエレクトロニクス高知工場が今後2、3年をめぐりに閉鎖を伴う集約の方向を決定したということです。ルネサス社高知工場の前身は三菱電機高知工場、三菱電機の元社長、進藤貞和さんが高知県に縁のある方で、本県進出にご尽力されたと聞いています。

私事ですが、この三菱電機が高知県に進出した際、協力会社から出向社員として、約10年、工場に勤務していました。私の勤めていた会社は動力供給設備を行う会社で、工業用水、ガス、電力供給等々、生産設備を裏で支えるバックヤードの設備を担っていました。半導体の量産工場というのは、簡単にいえば、野菜や果物を作ることと似ていて、ロット投入から生産品ができるまでの1カ月以上、生産の環境ラインを安定的に維持するのは非常に難しいものです。生産ラインで使われる高品質の水、不純物を含まないガス、

安定的な電力供給、清浄度の高いクリーンルームなどがあってこそ、初めていい品質のチップが取れます。

最初の10年ほどは、作れば作るほど利益が出ていました。スピードが優先、お金は後からついてくると言われた時代です。ピークは1995年、当時の出荷額は958億円、高知県の全製造品出荷額の約14%に当たります。しかし、しばらくして、日本の半導体業界も大きな転機を迎え、日本製は価格競争で遅れをとり始めます。高知工場も日立製作所の共同出資会社になり、社名もルネサステクノロジーと変更、その後、NEC系列企業とも統合、ルネサスエレクトロニクスとなりました。

半導体は「産業のコメ」と言われ、2000年までの30年間、毎年平均10%以上の市場拡大を続けてきましたが、あらゆる電機製品に使われてきた半導体も、想定していなかった需要減に見舞われました。今回の撤退決定は日本製の落日をあらためて強く感じるどころです。ただ、高知工場は半導体工場としての役目は終わろうとしています。動力供給設備等々、周辺の設備はまだ十分使えますし、技術者も残っています。新聞では、ルネサス社と県は、高知工場の譲渡先確保を協力していくとのこと。

本日の卓話は、高知県立大学地域教育研究センター長の清原泰治様をお迎えして「域学共生—大学が地域を変える、地域が大学を変える」と題してお話を伺います。



■本日のプログラム [1月5日]

ゲストスピーチ

(株)千クリエイティブカンパニー 代表取締役

田村 千賀氏

「未来を作る 想像力を育む」

会 長	野 村 茂
副 会 長	川 添 昇
幹 事	小 笠 原 晃 男
副 幹 事	伊 丹 由 美
会報責任者	鎮 西 正 一 郎

12月8日 例会

● **ロータリーソング** 「それでこそロータリー」

● **今週のピアノ曲** 「花は咲く」 ピアノ演奏：山内りり会員

● **来訪ロータリアン**

高知西RC 山崎啓輔氏



● **お客様**

米山記念奨学生 ムチャンガ・シファ・ジョウエルさん

● **幹事報告**

- ・次週は忘年夜間例会で、6時半から三翠園で行います。22日、29日はロータリー休日です。
- ・年明けは1月5日の例会が最初です。
- ・地区大会の仮登録は今日までです。多くの出席をお願いします。
- ・ガバナー事務所、地区大会事務局、ロータリー財団事務所は12月26日から1月5日まで。市内クラブ事務局は12月29日から1月3日まで。それぞれお休みです。



● **ゲストスピーチ**

域学共生——

大学が地域を変える、地域が大学を変える

高知県立大学 地域教育研究センター長 清原 泰治 氏

今、全国的に大学生が地域に出かけて行って地域の方達と一緒に活動をして、それを教育プログラムにするといったことがなされています。そのトップランナーとして走っているのが実は高知大学で、国立で初めて地域協働学部を立ち上げて、全国的に注目をされています。



私どもはどちらかというと、120人の教員、職員も50人という規模も小さい大学で、何でもかんでも取り組むということは当然できませんが、それでも高知大学とは違う視点で、しかも身の丈を越える地域での活動をしていきたいと考えています。

香美市上池というところでは、非常に高齢化が進み子どもがいなくなったために、人間の代わりに案山子を置いて賑やかにしようとしています。私は学生達に「これを作って置いている人たちの気持ちをどう思うか」と、いつも問いかけます。私たちが今取り組んでいる高知県の現状は、本当にたくさんの課題があります。知事も「課題先進県」とおっしゃっていますが、全国に先駆けていろいろ課題を抱え

ているのが高知県です。

一昨年、高知県内で調査をしたとき、私たちの大学に期待をして一緒に地域課題に取り組みたいと答えてくださった方が81.2%でした。この期待に応えていくのが公立大学である私たちの使命だということで、地域連携を担当して学長を補佐する人間を1人置き、さらに地域連携科という新しい科を創りました。私たちは自分たちの学校を「県民大学」と呼んで、本学への積極的なアクセスを県民の皆さまに呼びかけて一緒に活動していきたいということで、健康長寿センターと地域教育研究センターという二つのセンターと、立志社中という学生の主体的活動支援プログラムをつくりました。

学長に「大学の先生が地域自治体に政策提言していくのは当たり前だ。そうじゃなくて、学生が地域に政策提言していくような、そういう学生を育てたい。それで、新しい仕組みをつくって欲しい」と言われたのが平成25年4月です。そこで、地域の課題に高い関心を持った学生が、地域の方々や協働して取り組む。学生が地域の方々と一緒に活動することを通じて、学内だけでは学べないことを学んでいく。大学と地域が協働してよりよい地域づくり、人づくりにつながる仕組みをつくっていきたい。という三つの目標を掲げて、平成25年7月に立志社中は6チーム、102名でスタートしました。今年は9チーム、300名以上の学生が取り



組んでいます。このチームに入るには、学生達は分厚い申請書を書き、学長や副学長がいる中でプレゼンテーションを行います。そして選ばれたチームには、大学から地域に出かける交通費等のために各30万ずつ支給されます。途中で中間報告会が開かれ、活動内容やお金の使途などのプレゼンテーションを行い、3月には最終の成果報告会という3回のプレゼンテーションを学生たちには課して活動をしています。

具体的には、大野見村でコメリッシュットというグループが活動しています。ここでは、大野見のブランド化したお米の売上が、学生達がお手伝いして、4倍、8倍にまで伸び、学生達は、非常に美しい水で育ったお米がどれほどおいしか分かったと言っています。香美市の平山では8年ぶりに地域の運動会や夏祭りを復活させました。三原村では民具調査をしながら、いろんな方達とお話をする中で、学生たちのコミュニケーション能力が高まっていった。そして、倉庫に眠っていた民具が非常に価値がある物だと分かった。こういう形で、地域で教え合い、学生も学び、地域も学ぶということが起きています。そこで実感したのが、大学が地域を変える、地域が大学を変えるということでした。

私たちは、徹底した少人数教育をするということを柱に置いて、押しつけの教育をしない。学生の感覚や感性を大切に。学生から学ぶという教員の姿勢を持つ。といったことを大事にしてきた大学です。そういう中で、地域で活動している学生達を見ると、課題解決能力が非常に高まっています。地域の課題を見つけて、それをどうやって解決するかを学びながら、話をしながら、地域の人と相談しながら、方策を見つけて、それに向かって解決する行動力を持って意思疎通ができるようになっていく。そういう学生を何人も見てきたという経験をしました。

そこで域学共生、地域と大学が共に生きる、共に生かす、共に生みだしていく関係ができるのではないかと。その中で学生も学び、地域の人たちは自分たちで課題を解決していく力を、大学を利用しながら身に付けているということに気づいて、今年新しくカリキュラムを作り直しました。1回生全員に、地域学概論、地域学実習I、地域学実習IIの3科目を必修としました。2回生に上がる学生は、今度は自分たちで課題を見つけて、プログラムを作って地域に出かけていきます。さらに4回生までカリキュラムを用意して、4年間、地域で学んでいく仕組みとなっています。最終的には学生たちが地域に入れ替わり、立ち替わり出かけて行く、そこでいろんなことを学んでくるような教育プログラムに仕上げたいと思っています。また、知事から大変熱い思いをいただいて、大学と地域をつなぐ専門職の域学共生コーディネーター、2名が活動しています。私たちは、看護学部、社会福祉学部、健康栄養学部とありますが、生活の質を上げていく資格を持った専門職者、地域のことが非常によく分かっている医療や福祉の専門職者を育てていきたいというのが、私たちの大学の目的です。

そして今年、高知大学、高知工科大学、高専と一緒にCOCプラスという、もう一つ進んだ、地元に残したいということ、県内の大学がオール高知体制でやっていくということで取り組んでいます。ここで皆さんにお願いします。ぜひ、うちの学生たちを採用してください。高知に残りたいという学生はいっぱいいます。けれど、なかなか高知で就職できないので泣きながら四国山脈を越えているのが現状です。何とか仕事をつくらなければ、若者は高知県に残ります。ぜひ、高知に残りたいという同じ思いを皆さんにも持っていただけたらありがたいと思います。高知県立大学は志高く歩んでまいります。



◇ 出席率 ◇					
	総数	出席	欠席	メークアップ	出席率
12月 8日	(-7)90	57	24	2	71.08
11月24日	(-6)90	56	4	24	95.24

12月15日 忘年夜間例会

● **ロータリーソング** 「奉仕の理想」

● **会長挨拶**

皆さんこんばんは。今年最後の例会となりました。

今日はサンタクロースがたくさん来ていただきました。小さなお子さんたちもこれぐらいたくさんサンタクロースは見たことがないと思います。

本年7月から高知RCの会長を拝命して半年になろうとしています。何とか無事に今日の夜間例会を迎えることができ、会員の皆さま方のご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

本年度の国際ロータリーのテーマは「Be a gift to the world (世界へのプレゼントになろう)」です。giftは、単に贈り物という意味のほかに天から授かったもの、才能という意味もあると聞きます。本日まで出席の皆さまは、職業や地域社会を通じて得られた豊富な知識や才能、さらには組織を動かす力、リーダーシップを持つ方がたくさんいらっしゃいます。それを必要としている世界の人たちのために使って欲しいというのが、RI会長がテーマに託した希望だと思えます。引き続き、ご支援をお願いします。

今年1年を振り返ってみると、1月にはイスラム国で日本人2人が拘束、殺害される。3月には東洋ゴムの免震ゴムデータ改竄。北陸新幹線、長野・金沢間228キロが開業し、東京・金沢間、最速2時間28分。4月は日経平均株価が15年ぶりに2万円台を回復。5月は列島各地で火山活動が活発化。7月、新国立競技場建設計画を白紙撤回。改正公職選挙法が成立し、高知県は合区となる。9月、東京オリンピックエンブレムを撤回、最公募。集団的自衛権の限定的行使を可能にする安全保障関連法案が成立。10月、ノーベル生理学賞とノーベル物理学賞に日本人2人が選ばれる。TPPが大筋合意、マイナンバー制度スタート、ラグビーワールドカップで3勝。横浜市のマンションで基礎工事のデータ改竄。

あつという間の1年という感じですが、それほど今の世界は動きが激しいということだと思います。あと2週間余りで新しい年を迎えます。先日のテレビで「部屋の乱れは心の乱れ」だと言っていました。心当たりのある方は、部屋をきれいにしてお身共に清々しい気持ちでお正月を迎えることができますように。

今年最後のご挨拶となりました。来年も私と小笠原幹事、そして、川添副会長、伊丹副幹事体制で運営してまいります。今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願いします。



● **お客様** (敬称略)

入交ひろこ、入交奏太、佐竹真紀、佐竹莉奈、杉本延一、関 敬子、関 尚子、関真依子、関莉奈子、中澤佐紀子、西山由理、服部晃平、森本美奈子

● **幹事報告**

地区大会の仮登録の人数が少ないようです。多数の参加をお願いします。幹事、または事務局までFAXでご連絡ください。





◇ 例 会 変 更 ◇					
高知東RC	1月 6日	時間変更例会(阪)	高知中央RC	1月 7日	夜間例会(城)
高知ロイヤルRC	1月12日	夜間例会(旭)	高知南RC	1月14日	キャリアアップセミナー(阪)
高知西RC	1月15日	夜間例会(三)	高知RC	1月19日	職場例会(三)
高知東RC	1月20日	職場例会(阪)	高知北RC	1月25日	夜間例会(三)
高知南RC	1月28日	ロータリー休日(阪)			

※サインメーカーキャップのできるホテル (三)… 三翠園 (城)… 城西館 (阪)… ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)… ホテル日航高知旭ロイヤル

ニコニコ箱 [12月8日]

- 入交 章二 今年の高知RCに感謝。ホームカミングナイトをはじめ、お陰様で今年も1年間楽しいロータリークラブでした。来週、出張でメイクアップのため、今日が今年最後のホームクラブです。皆さん、よい年末、年始をお迎えくださいませ。
- 浜田 栄幹 今年も妻と私、そして結婚記念日を祝っていただきありがとうございます。年末にやっとニコニコ3件分することができました。来年もよろしく願いいたします。
- 川添 博 職場例会は、横田さんに無理を言ってネットヨタ南国(株)で開催することになりました。来年1月19日です。駐車場は確保されています。多数のご参加を!
- 森本 道義 僭越ではございますが、先週火曜日、私の社長就任の会に多くの皆さまにご参加を賜り、激励のお言葉をいただきました。心より感謝申し上げます。段取りをいただきました高野先輩、本当にお世話になりました。皆さまにいただきましたご恩を忘れることなく、責任を持って次の世代につなげられるような経営者になります。今後ともご指導、ご鞭撻をお願いいたしまして、ニコニコさせていただきます。
- 久場 幸信 ひと月振りの出席です。その間、ニコニコ記入があつたにもかかわらず、申し送りをせず親睦委員の方々にご迷惑をおかけしました。今日も13:30のJRのバスで高松へ行くため早退いたします。15日の夜間例会も出席できなくて残念です。いろいろお詫びを含めニコニコします。皆さま、今年もお世話になり、ありがとうございました。よいお年をお迎えください。
- 津野眞千子 清原先生、平素は大変お世話になっています。「域学共生学」のプロジェクト、ますますの成果を期待しています。

ニコニコ箱 [12月15日]

- 吉門 文恵 12月25日が誕生日の私は、いつも24日クリスマスイブのついで…残り物で終わり(笑)もうこの年になるとすっかりなれて何の抵抗も無し…となった今、せめて自分のためと思い、12月15日忘年夜間例会に着物を着てみました。杉本さん・河合さんのおかげ様でありありがとうございました。これからは、和服が似合うおばあちゃんになる。そのために着る回数を増やしたいナー〜と密かな想いです。日本人の心が少しだけ解る(勉強中)とっても素敵に着物、改めて感じています。花輝さん、お花をいつもありがとうございます。1年分のニコニコです。

1月のお祝い

- (会員誕生日) 竹下篤範 山内るり 細田長司 西山彰一
甘田量一 川崎卓巳 熊野裕二 岡 亮助 各会員
- (配偶者誕生日) 中田心一 高野賀枝 吉原 操 武樋美由紀 西山 益 各会員配偶者
- (結婚記念日) 尾木謙三会員

● 累計額 [12月15日現在]

ニコニコ箱	638,000円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	162,961円	ポリオ募金	203,000円
-------	----------	--------------------------------	----------	-------	----------

■ 次週のプログラム [1月12日]

ゲストスピーチ
海辺の杜ホスピタル 健康推進室長
楨本 宏子氏
「ストレスチェック制度について」

創 立 昭和12年10月
例 会 日 火曜日 12:30~13:30
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階
TEL(824)8660 FAX(824)2529
E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp
HPアドレス http://www.221.ne.jp/kochirc/